

【選択問題】 慶大経済学部

6

I 20世紀のアフリカ・南アジア・中国に関して述べた次の文章を読んで、問1～問3に答えなさい。解答は、すべて記述解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

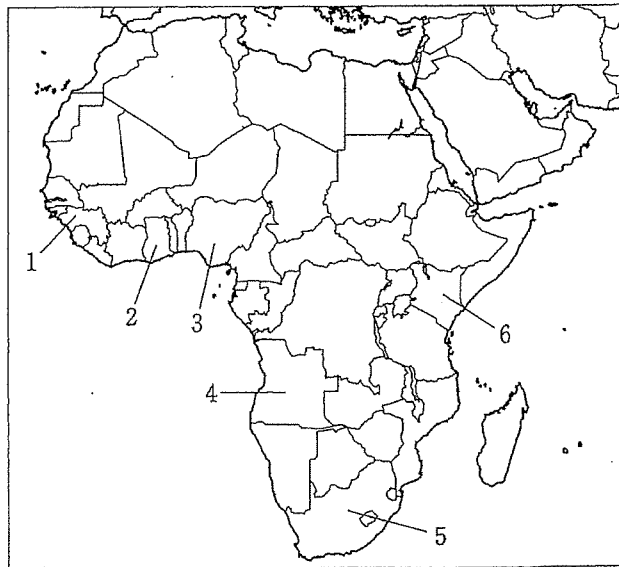
世界初の総力戦といわれる第一次世界大戦は、これまで世界経済を牽引して来たヨーロッパ資本主義諸国に打撃を与え、代わってアメリカ合衆国の台頭を促した。こうした中、アメリカ合衆国から拡大した世界恐慌は、資本主義諸国の購買力をさらに低下させ、従属地域は農産物や工業用原料の価格暴落などで壊滅的な打撃を受けた。そのためアジアやアフリカでは、1930年代に民族運動が高揚した。

問1 下線部Aに関連して、次の文章を読み、以下の(1)、(2)に答えなさい。

アフリカでは、第一次世界大戦前後に民族運動の新たな動きが見られた。白人優位に反発して1912年に発足した(ア)先住民民族会議や、アメリカ合衆国の黒人解放運動家デュボイスが1919年に開催した第1回パン＝アフリカ会議はその例である。こうした動きは第二次世界大戦後におけるアフリカの独立や連帯へとつながった。

(ア)先住民民族会議の流れをひくアフリカ民族会議(ANC)のマンデラは、1994年に(ア)の大統領に就任した。またデュボイスの影響を受けた(イ)のエンクルマや(ウ)のセクトゥーレは、それぞれ独立時の指導者となった。

(1) (ア)～(ウ)に入る地名の位置として最も適切なものを、地図中の1～6の中から選びなさい。(重複使用不可)



備考：国境線は現在のもの

(2) 下線部 α に関連して、次の1～4の出来事を、年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. アフリカ統一機構 (OAU) が結成された。
2. ソマリア内戦に国連がPKOを派遣した。
3. アルジェリアの独立が承認された。
4. エチオピア皇帝ハイレ=セラシエの専制が倒れた。